

令和8年度 | 春季

景観・まちづくり大学



京のまちづくり史講座

受講料：〈1講座〉1,000円
(学生500円)

千年以上に渡り、三山に囲まれ、豊かな水文化を醸成しながら、人々の営みが脈々と、幾重にも積み重ねられてきた京都。今日も、あちこちで新しい風景が育まれています。

本講座は、全8回を通じて各分野の専門家をお招きし、京都という「まち」を様々な文脈から読み解き、これからのまちづくりに繋がるアレコレを探求します。

京都を彩る景観力 -京のハレとケ-

対面講座 ◎ 申込受付開始日 | 3月25日(水) ◎ 申込受付終了日 | 5月20日(水) 定員50名(申込多数の場合は抽選)

講師 | 藤本 英子氏
(京都市立芸術大学 名誉教授)

日時 | 5月22日(金) 18:30~20:10

会場 | 京都市景観・まちづくりセンター
ワークショップルーム

※会場での参加が難しい方はオンライン(Zoom)にて受講することができます。

京都は四季折々の豊かな自然に囲まれ、山紫水明と言われています。また、古くからの伝統や文化が息づき、祭礼と日々の暮らしに「ハレとケ」が色濃く受け継がれ、一人一人の心の中に誇りとして育まれています。

講座では、京都の景観に彩りを添えている自然や文化について考え、それが現代の建築や広告物にどのように反映され、デザインされているか、事例を交えて解説していきます。

祇園の祇園祭 ~神事が紡ぐまちのきずな

対面講座 ◎ 申込受付開始日 | 3月25日(水) ◎ 申込受付終了日 | 6月24日(水) 定員50名(申込多数の場合は抽選)

講師 | 澤木 政輝氏
(毎日新聞記者、宮本組組頭補佐)

日時 | 6月27日(土) 14:00~15:40

会場 | 京都市景観・まちづくりセンター
ワークショップルーム

※会場での参加が難しい方はオンライン(Zoom)にて受講することができます。

江戸時代前期に祇園社(八坂神社)の門前町として形成された祇園町は洛東の繁華街として発展し、明治維新の激動を乗り越えて現在まで、日本最大の花街として存続してきました。

五代続いたお茶屋に生まれ育ち、代々にわたって祇園祭に奉仕してきた氏子の立場から、神事を軸とした祇園花街の形成と現在、将来の展望を語ります。

令和8年度 京のまちづくり史講座 通年受講(前期)募集中!

京のまちづくり史講座では、通年受講(前期)の申込を受け付けております。単回ごとの申込よりお得になっておりますので、ぜひお申し込みください。

※欠席した回、および中止となった回があった場合でも返金はできません。ご了承ください。

月日	テーマ	講師
5月22日(金)	京都を彩る景観力 -京のハレとケ-	藤本 英子氏 (京都市立芸術大学 名誉教授)
6月27日(土)	祇園の祇園祭 ~神事が紡ぐまちのきずな	澤木 政輝氏 (毎日新聞記者、宮本組組頭補佐)
7月26日(日)	鴨川デルタと下鴨の風景 -田園から水辺のまちへ-	谷川 陸氏 (京都大学大学院 地球環境学堂 助教)
9月27日(日)	出町商店街・ まちに宿る野生	有馬 恵子氏 (京都大学 東南アジア地域研究所 特定研究員)

〈受講料〉全4回 2,200円(学生1,100円)

- 〈申込方法〉
- ① 会場で受講される方
右ページの連絡先よりお申し込みください。
 - ② オンラインで受講される方
右ページの2次元コードを読み込み、
通年受講用フォームよりお申し込みください。

京町家再生セミナー

受講料：〈1講座〉1,000円
(学生500円)

京町家の所有者や居住者をはじめ、具体的に京町家の居住や活用を検討している方や京町家に関心のある方向けのセミナーです。年間を通して、京町家の歴史や文化、改修の手法、相続、資金調達、活用方法など、今すぐ役立つ京町家の保全・再生に関する様々な専門知識をわかりやすく学びます。

京町家を風水害から守るために -大工と現場監督が語る-

対面講座 ◎ 申込受付開始日 | 3月25日(水) ◎ 申込受付終了日 | 5月26日(火) 定員50名(申込多数の場合は抽選)

講師 | 柴田 秀俊氏
(株式会社アラキ工務店 現場監督)

牛田 秀樹氏
(株式会社アラキ工務店 大工・工場長)

日時 | 5月28日(木) 18:30~20:00

会場 | 京都市景観・まちづくりセンター
ワークショップルーム

※会場での参加が難しい方はオンライン(Zoom)にて受講することができます。

夏になると頻発する風水害。「うちの家、古いし、風で瓦がズレないか、雨漏りしないか心配。」と思う方もいらっしゃるでしょう。実際に風水害が起こり被害を受けてしまったとなれば大きな修繕が必要になります。被害を最小限に留めるためには、日頃から京町家の状態を把握しておき、気になる箇所は修繕しておくことが大切です。

京町家の改修を数多く手掛けられている大工さんと現場監督さんに、風水害への備えの他、快適に暮らしていくために日頃から気にかけておくというポイントなどをお話しいたします。

お隣が壊される -京町家を守るためにすべきこと-

対面講座 ◎ 申込受付開始日 | 3月25日(水) ◎ 申込受付終了日 | 6月15日(月) 定員50名(申込多数の場合は抽選)

講師 | 三田村 和幸氏
(土地家屋調査士、三田村土地家屋調査士事務所、京町家相談員)

澤田 直隆氏
(宅地建物取引士、株式会社澤田住宅)

日時 | 6月18日(木) 18:30~20:00

会場 | 京都市景観・まちづくりセンター
ワークショップルーム

※会場での参加が難しい方はオンライン(Zoom)にて受講することができます。

京町家は隣家と壁を接して、あるいは柱を共有して建てられていることが少なくありません。そのため、隣家や長屋の一部が取り壊されると、残された京町家は思いがけない影響を受けることがあります。

自分の京町家を守るために気を付けたいこと、解体や工事の影響をできるだけ小さくするためのポイント、そしてお隣さんとの関係を大切にしながらお願いごとを伝える方法など、突然の環境の変化に備えるために知っておきたいことをお伝えします。

申込方法

開催会場で
受講される方
右記へお申し込み
ください。
(Peatixでも申込可)

申込先 | 京都市景観・まちづくりセンター 電話 | 075-354-8701
FAX | 075-354-8704 ※電話・FAXのおかけ間違いにご注意ください。 Eメール | machi.info@hitomachi-kyoto.jp
受付時間 | 9:00~17:00 休館日 | 毎月第3火曜日(祝日にあたる場合は翌日)

※申込の際、セミナー名、氏名(ふりがな)、電話番号、メールアドレスをお知らせください。
※申込多数により抽選の結果、参加不可の際に当センターからご連絡いたします。
申込受付期限後でも、定員に達していないセミナーは受講を受け付けますので、当センターまでお問い合わせください。

オンライン
(Zoom)
受講される方
右記の手順で
お申し込みください。

- 1 右記の2次元コードを読み取り、「Peatix」内の京都市景観・まちづくりセンターのページにアクセス
- 2 参加したい講座をクリックし、内容を確認
- 3 「チケットを申し込む」をクリック
- 4 案内に従って必要事項を記入し、申し込む
※Peatixへのログインが必要になります。 ※受講料は、お申し込みの際に選択された方法にてお支払いください。



https://machisen.peatix.com/
※「Peatix」トップページから、
京都市景観・まちづくりセンター 検索
で検索していただいてもアクセスできます。



定員100名
(申込多数の場合は抽選)

- 5 チケット購入時にPeatixから届くメールから、講座開始直前にアクセスしてください。
※申込後のキャンセルは、参加方法によって手続きが異なります。詳細は当センターまでお問い合わせください。
※オンライン(Zoom)受講される方は、利用環境をご自身でご用意ください。

CPD: 景観・まちづくり大学は、建築士会CPD制度認定プログラムです。建築士等、専門家の方々もぜひご参加ください。